## ふるさと再発

島原の

押

絵びな

島原城 の梅苑

ぶ季節になりました。 島原城本丸は梅の名所となっ そろそろ梅のつぼみがほころ

ており、

その一角に紅梅と白梅

があります。 が植えられている「古野梅苑 この梅苑は、 島原出身の古野

柄で、世界で初めて魚群探知機 備したものです。 マツヨさんからの寄付を元に整 古野家はもとは松平家臣の家

像が安置されています。

を開発した古野電気を設立、 れており、奥には松倉重政公木 者が祀られています。この祠に をされたものです。 は松平忠精公筆の扁額があげら 者である松倉重政公と工事犠牲 政公御祭祀の祠」があり、 祖の地である島原へ多額の寄付 この梅苑の中には、 「松倉重 先

ながら堀を掘る難工事の連続で る美しい島原城が築かれたので 多くの犠牲者があったと伝えら くの人たちの犠牲により今に残 れています。工事にあたった多 高い石垣を築き、涌き水に悩み 人物として知られていますが、 松倉重政公は島原城を築いた

句会として知られています。 見てその思いを句に託す風流な 梅林俳句会が催されます。 島原市では毎年、 梅の時期に 梅を

梅苑を訪ねてみませんか。 近な梅の木、 市の花に指定され私たちに身 春の訪れを感じに

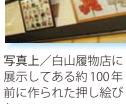
じでしょうか。 ますが、皆さんは「押し絵びな」をご存 島原城下ひなめぐりが開催されてい

時代後期から全国各地で作られ始め 着物の生地を貼り、中に綿を詰めて凹 島原城観光復興記念館では多くの押 ら次第に作られなくなり、現在まで残 れていました。しかし昭和初期ごろか 価だったため、庶民の間で流行し飾ら 凸を付けたひな人形のことです。江戸 っているものは珍しく貴重なものです。 たとされており、ひな人形がとても高 に展示してある押し絵びなは、島原押 し絵びなを見ることができます。ここ 押し絵びなとは、厚紙を土台にして 島原でも押し絵びなが残っていて、

> ります。 その多くは、現在中堀町にある白山履 武者や子どもなどさまざまな種類があ うです。お内裏様やおひな様に限らず、 物店で昭和初期に製作されたものだそ し絵の会が発掘・修復したものですが、

ればと思います」と話してくれました。 めぐりを機会に多くの人に見てもらえ 生地や綿、型紙として使う絵がそろう すので、島原の文化の一つとして、ひな 押し絵びなを製作、販売していました。 お話を聞くと「私の祖母が履物屋の傍ら 絵びなは、100年程前のものもありま ましたので店内に展示しています。押し ます。我が家にも押し絵びなが残ってい 環境にあったので作り始めたのだと思い 白山履物店の店主・白山眞一郎さんに

島原城観光復興記念館



絵びな作成時の原画も 展示されています。



びな。ひなめぐり協力店の数力所で見る ことができますので押し絵びなを探し て散策してみてはいかがでしょうか。 どこか懐かしい表情を見せる押し絵